

報 告 事 項

№.

報 告 先	原 田 副 会 長	報 告 者	竹 岡
日 時	52 年 10 月 21 日 金 曜 日 時 分		
報告・決裁			
経過について.			
本年 1 月より詫び状をとつた坊主は以下の通りです.			
1 月 20 日, 27 日	菅野 憲道		
1 月 28 日, 29 日	松本 珠道		
2 月 6 日, 7 日	坂井 進道		
2 月 12 日, 14 日	栗林 開道		
2 月 16 日	水野 顕道		
2 月 22 日	高見 求道		
3 月 12 日	西本 曉道		
2 月 14 日	中村 福道		
8 月 3 日	玉沢 研清		

件名	菅野憲道の件 ①
日時	52年 1月20日 16時50分～22時20分
場所	学会本部2F 杉本接.
担当者	[学会側] 辻FKR 原青. 野男. 松崎総経理 [宗門側] 阿部教学部長. 菅野. (勝浦本部)
概要	・食事(うなぎ) レンガ座談の後 ・菅野 山び抄を読み上げる - ・菅野に小び子字男がおたくなく. 青. 男ど でいかに確執. ・「僧侶の信念に基づいて書いた」と菅野. ・「山び抄が対決がセーサセー. その山び抄の 山び抄がよいと云い. 山び抄をもった」 ・山び抄字男がおたくない. 倉り何学会セーサ. セーサ 山び抄は受けとれない. セーサ. 本ん山び抄.
指示事項	・土下座にみやま. ・阿部「憲道も⑤の第三節から是非土下座にしろ」 ・舎待の三徳 にかいて菅野を不愉快 菅野「これは憲道の中の⑤に⑤に」
関連事項	・日蓮正宗の色々料性について. 念法ス住にかいて. ・親下には師匠に対する悪信として徹底的に破す. ・菅野の素生活にかいても指す.
関連資料	・テ-フ. ①. 記録 菅野憲道の件 ① ・富士学報5号. 菅野論文. ①. 千尋. 松崎総経理報告.
担当	

件 名	菅野憲道の件. (2)
日 時	52年 1 月 27 日 16 時 45 分 ~ 21 時 30 分
場 所	学会本部2F 606 応接室
担 当 者	[学会側] 北条理事長. 辻副会長. (八矢. 田中. 上原) [宗門側] 早瀬総監. 阿部教学部長. 菅野憲道.
概 要	前回 70枚状をもつてきたが. 菅野にねむる姿勢が ないため 70枚状をつたえた。 今日は. 本当の70枚状をもつてくるというのできた。 理事長から菅野に指導あり. 後に. 婦人科 3人. 全国の具伴列をねい その改善を要求 先に菅野をかえし. 地条. 辻. 早瀬. 阿部に 懇談. CPFの伝言を伝える。
指示事項	
関連事項	
関連資料	テ-70. 記録本. 後30分は別保管.

--	--	--

担 当	
--------	--

件 名	松本珠道の件 ①
日 時	52年 1月28日 16時45分~18時45分
場 所	学会本部2F 66応接
担 当 者	[学会側] 北条理事長. 秋谷. 山崎 副会長 [松本側] 早瀬 総監. 阿部. 松本珠道.
概 要	・27日地条理より(5)への伝言があった ・その答え. 総監よりあり ・松本 7日 10月28日 なる。 ・地条. 秋谷より論文の1つ-1つあやまりと指し示。(松本 先に帰す.) ・地条より早瀬. 阿部の活躍を期待する旨要望。
指示事項	・7日状は(5)へより. 阿部 秘書中表へ提出する方がよいのでは. という点で. 松本 → 阿部へ. このうたて(5)にもいれたい。
関連事項	
関連資料	7~7°. 記録.

--	--	--

担
当

件 名	松本珠道の件 (2)
日 時	52年 1月29日 午前11時20分~12時5分
場 所	学会本部2F 66号接室
担 当 者	〔学会側〕 地条. 江 〔宗内側〕 早瀬. 松本珠道
概 要	・ 松本→阿部(教)へのワビ状のうっせ 松本よむ. ・ 論文は逸脱などではなく大謬法い みる旨 地条→松本へ. ・ 松本 下の車でまかせて. ・ 地条. 早瀬. 妙観会の実態について ともに早瀬. 阿部からよく指導するよう要望
指示事項	早瀬.「おれ達も視野が狭かった. 妙観会はおれ達も手が出ない. (4)もよけいなことするな」という.
関連事項	そういう状況では. 宗務院で何かいうと. 「よけいな事を」と (4)は言われる. 言えな... ことあり まして. 」
関連資料	地条...「(4)の弟子だからといって やりかたはどうい ではないけれど」 早瀬. 「(4)の弟子だからと. どの弟子だからと 今後キキッとして 担 執念いする」

件 名	坂井進道の件 ①
日 時	52年 2 月 6 日 15 時15 分～18 時35 分
場 所	熊谷 法潤寺
担 当 者	(学会側) 原青. 野男. 竹入早長. 新井(正). 中村(功) (宗内側) 坂井進道.
概 要	① (M) についての言動をたずねる. ※ ② CPの女性問題の言動をまづ問う. ワビキをヒク. ③ 近日常に 池田先生あとの今後の決意書と 持参することを約束. 2月13日のお講で 参加者へのワビキ ことを約束.
指示事項	
関連事項	* 戸田先生 誕生記念 熊谷本部 幹部会 18:00～20:30 井上完. (男) 青 (男) 青 経過の報告 * 進道と交際のあり② 寛政年會 22:00～23:00 小林定 (男) 青 (男) 青 経過の報告
関連資料	会談 1-70 6 年. (新田. 寺山, 重井. 村瀬 根岸. 小林)

--	--	--	--	--	--

担
当

件 名	坂井進道の件 ②
日 時	54年 2月 7日 19時 ²⁰ 10分 ~ 18時15分
場 所	創価学会本部2F 才6応接室
担 当 者	学会側 秋谷副会長、原田青年部長 宗門側 坂井進道。
概 要	前日6日のワビ状に加え、池田先生に 対する決意書を持参。 学会批判や会長批判をやめ、 今後はよく学会、会長を理解し、 信者を大切にすることを約束。 (食事出す、奥のほう)
指示事項	
関連事項	池田会長批判を坂井から聞いたTちゃんに い子人に対する、坂井自らおびきで名前を おしえてもらいたいとの希望あり。(青)OK、おしえて 知らせるとのこと。要
関連資料	会議内容 — 坂井進道の件② テープ 2本。

--	--	--

担 当	竹岡
--------	----

件 名	栗林南道の件 ①
日 時	52年2月12日 15時30分～23時30分
場 所	福井文化会館 3F和室
担 当 者	(学会側) (青)(男) 中村(康) 橋本福井青年部長 (宇内側) 栗林南道 (法珠寺住転)
概 要	8時前にわたる会議。CP裁判。⑤裁判。一つ一つについて ことごとく否認。 ⑤幹部は成仏していった件について証人2人を立ち会わせ、ようやく認めあす。成仏の19 詫状を書く。 その他の件 結着つかず。 再度本部にて会議の含み。
指示事項	宮本、竹岡、外山が一日 福井に残り、事情聴取、証人へのため、(青)(男)利)
関連事項	・6:30より4者総部長会。 ・23:50より 島、(青)(男) 会見、島決意書。
関連資料	テ-70 詫状、決意書。

--	--	--

担当

件 名	栗林南道の件②			
日 時	52年12月14日 3時10分～9時30分			
場 所	本部別館 2F 青春の間			
担 当 者	(学会側) 青男 井上(幹) 和田(公) 最後に秋分PKR (宗門側) 栗林南道			
概 要	13日 朝より お講を所化に まかせ 急な本ムへ南道行く。 説心状をもって本部へ。 約7時間におわり。松村氏の証言をもちに ー ー について。CP批判 ③批判をとい ふ。始めは 1-げうとんが ついに 1-てんを認めあ			
指示事項	食事をせし。秋分副会長 最後にする。			
関連事項	。松村夫妻。傍証のため 14日 正午 本部着。 別館 1Fで待期。			
関連資料	テープ 説心状。			
				担 当

件 名	水野顕道の件				
日 時	52年 2月 16日 12時35分～ 時 分				
場 所	本部別館 青春の間。				
担 当 者	(学会側) (青) (男) 大橋九州男。 (宗川側) 水野顕道 (海王寺住職)				
概 要	徳之助における学会批判を一ツ一ツ破折。 「これまで私の考えは本当にまちがっていい」と おおいに詫言。 ・現下本論論。松本殊途に測定の心合折 ・会長に帰命する。会長本論論。とある考えは あやまりと認める。池田会長に帰命にあらう問題 はない。当然のことです。 ③の姉弟論を全個々に認める。 ・藤田女子部長の話。				
指示事項	・慈言。一校口会長批判に於いて徹底的に追求 「今後口が二つともいいません。宗内の中において、こんな ことという者がいたらどうします」				
関連事項	辻野会長、福島副会長、藤田女子部長へのカビの手紙 3月3日の天講で述べにわたる件の約束。 ・池田先生とのカビ状を報告。よみあげず。				
関連資料					
				担 当	

高見求道の件.

52. 2. 22. 10:00. ~ 12:30.

本部別館 青春の面

5 例. ⑧ ⑨ ⑩ 千母福島県長

5 例. 高見求道

⑤. 及び ④ に対するこの2つの書き方について
を糾す.

訛が林を持参してきたものの、再度現存の
指導を山 訛が林を書く.

自ら破仏法の僧であることを認め、平山へ.
辞表を出すことを拒否.

さらに愚僧の感嘆.

年 月 日

件 名	西本 暁道 (八王子. 常修寺)				
日 時	52 年 3 月 12 日 10 時 50 分 ~ 13 時 00 分				
場 所	本部文6応接.				
担 当 者	秋谷FK. 山崎FK. 平沼				
概 要	常修寺一法華講と新結成(1:1)				
指示事項					
関連事項					
関連資料					
			担当		